



美男剣法

★スタッフ★  
 原 作 江戸川乱歩  
 監 演 渡辺 邦男  
 脚 本 小国 繁  
 脚 本 佐々木 康  
 主 演 美空ひばり  
 大友柳太朗  
 美空ひばり  
 美空ひばり  
 美空ひばり  
 美空ひばり

身丈に近いう大竹刀、五尺三寸の毒物すを前に、江戸の道場を片づ  
 ばしから脱して出る右待がいた。その名を芝居屋四郎は兄の仇  
 を討つた。江戸に居るといふその仇、門川好藏を求めて、因表を  
 出、親友の家を身を寄せて毎日、仇を求め、腕をも鍛かんと、か  
 くは父の道場に現われては五尺三寸の大竹刀で、試合を繰り返すの  
 であつた。彼の剣法は俊達だが、欠けを懸けては相手の一突きで相手  
 を倒す。この手には後継者が、欠けを懸けては相手も倒され  
 た。彼は、剣業剣法とよぶつて時よであつたが、負けた人たちは  
 何とも利業剣法とよぶつて時よであつたが、負けた人たちは  
 見れば、求める仇が剣業と聞いているので先代、討たねばならぬ  
 という全願がかくの如き剣法を求めたのであつた。こんなこと  
 から修行は、千葉道場を頼りにされた志願一刀流の使い手。最も  
 今では、酒と女をもち暮らし、下絵のやくりの道場から用心棒料  
 として生活費を受けている。平手造酒と知り合つた平手造酒は不思議と  
 この右待、四郎に好意を寄せていた。若いのに強い腕を持って、一  
 人、お富が登壇した。彼女は平手もよく来る茶店の常連で、彼  
 女は芝居屋四郎に好意を寄せていた。この二人の状況にも芝居屋四郎にことなか  
 れとすればはかなことをするものだ。  
 芝居屋四郎は、数ある兄弟の中で、自分だけが腕が強いといふので、仇  
 に出され青春を無駄に過ごすばかりに行きさう、お富といふ  
 江戸の美しい娘を待たないに拍車をかけて、志だけに命を賭けようとい  
 うと考へてあつた。こうした志願の喜びと痛みの中にお富との誘引  
 に時を過ごすことの多くなつた芝居屋四郎に、彼が心では誰と仰ぐ平手造  
 酒は、「この恋だけは諦めな」と、已れはお富といふ酒者と毎日酒を  
 飲かし居ながら往還するのであつた。その秘密が芝居屋四郎に分つ  
 た。  
 お富こそ、芝居屋四郎が求めたいたの門川好藏の娘であつた  
 のだ。芝居屋四郎は頼りに頼んだ。そして、江戸を一人離れた。その日は  
 訪ねたお富は下駄、平手造酒が寄居する芝居屋四郎の下であつた。  
 その頃、芝居屋四郎と親類五郎との間に風雲急を告げ一時期  
 危殆に陥つた。川流をわぐ湖米出島。そこには造酒の友  
 人である門川好藏が、これは無問方の用心棒として、腕を懸して  
 芝居屋四郎の暗躍を持っている。



美空ひばり、大友柳太朗のコンビが、この美男剣法を演じた。美空ひばりの姿を演じたのは、美空ひばり本人である。

美男剣法



草千母





主演 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法

契つた女が兄を殺した仇敵の娘とは、宿命に泣き恋に悩み、剣に生きる美剣士の一刀流に、潮来出島のしよきが来る。

主演 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法  
 美男剣法 美男剣法





剣と淫賢の時代に生きた清純の乙女と多感の青年剣客の胸にかつた恋の虹。恩愛の激情と奇しき運命の織りなす剣と恋の痛快時代劇。

仇討ち道中にもぎつた乙女は求める仇の娘だった。花の剣客の数奇な恋。月の出島にやぐざ仁義の血の雨が降る。



★キャスト★  
 北原 三郎  
 美空 ひばり  
 月形竜之介  
 轟夕起子  
 柳家金語楼  
 藤里三郎  
 月形竜之介  
 轟夕起子  
 柳家金語楼  
 藤里三郎  
 月形竜之介  
 轟夕起子  
 柳家金語楼  
 藤里三郎

剣を恐れず、名を絶えず、さとし恋は断ちがたし。仇討ちか、愛する女の父は兄の仇。預命の恋にはけき、数奇な運命に奔り、やぐざ暗陣に風を呼ぶ。花の剣士の北風一刀流。突きの一手。五尺の快剣、見事つらぬか。仇の娘に恋した花の美剣士。



飛燕の業か、音無しの構えが、必殺の剣に生涯を懸ける花の美剣士、仇討ち道中に美わしき乙女の恋を得たが……  
 雷蔵 遊峨のラヴェリン



美男剣法 撮影開始  
 ……  
 ……